

高校進学ガイド(1)

高校ルール — 自由の価値・重さ —

すべての新高1生は、高校生活を楽しく充実したものになりたいという願いを抱いているはずです。それを実現するには、そもそも高校とはどういう世界なのか、皆さんの成長の長い旅の中でどういう意味を持っているのかを理解していることが必要です。まず、そこから確認しましょう。

Rule・1 高校は自由。自分の意思で動き出せ

先輩の感想は…？

⇒「高校に入っていちばん強く感じたのは、自由だということ。これほどとは思わなかった」

高校は本質的に自由な場所です。もちろん、場の取り決めとしての校則はありますが、それは社会にもいろいろな法律があるのと同じことです。つまり、人に迷惑をかけたり学校の雰囲気を壊したりという逸脱をしない限り、自分のやりたいことができるということです。中学生のときとは比較にならないくらい選択権を与えられているのが高校なのです。ただし、この自由を真に楽しむには、自分の意思で積極的

に動き出すことが必要です。何もしないでぼんやりしていても、今までとちがって、まわりの人は「あれをしなさい」「これをしなさい」と指図してくれません。ただいたずらに貴重な時間を空費するだけになってしまうでしょう。

だから、思い切りよく決断して、すぐに行動を開始することが大切です。勉強でも部活動選びでも、自分からどんどん動いていくことを心がけてください。

Rule・2 高校時代は自立のとき。自分のルールを確立せよ

先輩の感想は…？

⇒「うちのクラスは自立している人ばかりだから、本当に楽しいし、すごく刺激を受けるよ」

自由は夢のように思い描いているときは美しいことばかりのようですが、実際にそういう環境におかれるとなかなか大変な面もあります。すべては自分次第。活躍するのも自由なら、停滞するのも成績不振に陥るのも自由なのです。

自由には必ず「自己責任」がついてくることを忘れないでください。大きな行動の自由が与えられたときこそ、自分で

ルールを作り、それを守ることが必要です。そこを勘違いしてだらしくしていると、本当の楽しさは味わえず、学業も奮わなくなるでしょう。楽しく自由に行動する代わりに、やるべきことは人に管理されなくてもやる。自立してこそその自由です。

Rule・3 自分を深める

先輩の感想は…？

⇒「3年間で世界の文学者の本を合計100冊以上読んだかな。鷗外も漱石もドストエフスキーもトーマス・マンもプルーストも…。今まで知らなかった世界が開けてきました」

高校生になったらたくさん本を読もうとか、楽器をやろうとか、スポーツを極めようとか、自分の興味の方向で、知識や技術を習得したり、あるいは伸ばしたりしたいと考えている人が多いと思います。

それを計画倒れにせず、ぜひ実現してください。興味を持

つということは、それ自体才能の兆候です。物事に熱中しやすく、感性も豊かなハイティーンのときに打ち込んだものは、何にも替えがたい財産となるばかりか、幸運なときには将来への道を開いてくれることもあります。それをめぐって、一生つきあう友だちができることもあります。

Rule・4 積極的に試す

先輩の感想は…？

⇒「高校は理科と社会の全科目を履修するカリキュラムで、部活も引退まで目いっぱいがんばった。行事運営にもずいぶん参加した。すごく忙しかったけれど、自分の世界が広がり、今後に生きてくるといふ気がする」

多くの人にとって、高校は人生で最も幅広く学び、多様な経験をする場となります。大学では、ある程度方向性が決まった中での活動になるため、専門性が高まる分、対象を絞ることになるからです。日常生活の中で、自分にとって未知なものに次々と挑戦できる、この最後の3年間を存分に生かしてください。今まで疎遠だった分野、苦手だと思っていた役割

などにも積極的にチャレンジしてみることをお奨めします。

高校生になると、何をやるにしても、スケールや質が中学時代とはまったく異なります。そういう中に身を置いて、成功したり失敗したりといろいろな経験をすることで、人間としての実力がつき、自分自身の方向性も見えてくるのではないのでしょうか。人生で二度とはないチャンスです。

Rule・5 先生や友だちとのつながり

先輩の感想は…？

⇒「高校での仲間とは長いつきあいになる予感がする。それだけでも、この学校でよかったと思う」

高校では、人とのつきあい方が少し変わるかもしれません。先生たちは、みなさんを管理する対象ではなく、一人の人間として見ます。

質の高い活動を共有する友人たちとは、ときに今までは経験のない、深く理解し合える関係を築くことができます。また、普段の会話でも話題の射程がぐんと長くなり、広く社会や遠い将来へと話が発展することが増えてきます。

「高校の友だちとは大人になってもつきあいが続くものだ」とよく言われるのは、そういう事情があるからです。

友だちになるには、お互いが認め合わなければなりません。だから、まず自分がしっかりと自立しましょう。そして、ふだん接する周りの人たちを大切にしてください。そうすれば、いつの間にか、良い友人たちに囲まれている自分を発見することになるはずですよ。

Rule・6 大学への準備をする

先輩の感想は…？

⇒「最初から絶対に行きたい大学に現役で合格すると決めていた。だから、勉強もしっかりやった」

ここまで述べてきたように、高校3年間はかけがえのない時間です。この間に皆さんにはできることとやるべきことがたくさんあります。自分が真剣になればなるほど、収穫もまた豊かなものとなるでしょう。

しかし大学進学を志す人にとって、この3年間はそのための準備期間でもあるのです。大きく成長した結果を、ぜひ、

自ら望む方向性への次の一歩につなげてください。

そのために必要なのは、高校入学と同時に、大学を意識した勉強も緊張感を持ってスタートさせることです。受験は自己実現への大きなステップです。やりたいことの阻害要因というマイナスのとらえ方ではなく、その重要な部分を占めるものとして、明るく積極的に取り組んでください。